



議会だより No.148

2025.1.17 発行

ニッセ



今年はお肉
いっぱい食べます



野球も演劇も
がんばりたいです



毎日朝食を欠かさずに
とり、バランスの良い
食生活を心がけます



今年も頑張ります。
皆健康でお過ごし
ください



勉強を頑張ります



将来に向けて
頑張ります



今年も元気で
過ごしたいです



健康に留意し、野菜
作りと山の手入れに
もう少し頑張るぞ



早寝早起 健康第一
健康は財産



家族との時間を大事
に、家族全員が健康
でいられる一年に！



思い立ったが吉日
人・地域を大切に
新たな挑戦



今年も楽しくダンス
に頑張ります

今号の写真

巳年生まれのみなさん

新年のごあいさつ

議長 有吉 富生



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素より町議会に対するご支援ご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨年は、夏から秋にかけて異常ともいえる猛暑が続き、農作物の被害発生や、紅葉の時期が非常に短くなるといった現象が起きました。地球温暖化により、極端な気象が今後も続くことが予測されるため、台風・豪雨・地震等々の情報収集を行い、災害への備えをしつかりと行っていただきたいと思えます。

さて、新型コロナウイルス感染症が五

類に移行となり、町の行事やイベントが完全復活し、コロナ前の活況を取り戻してきたと感じているところです。また、令和二年に発生した災害からの復旧も、行政をはじめ関係機関のご協力により今年度で全ての箇所の契約が終わり、一つの目途が立ちました。

一方、心配なのは近年の出生状況です。令和五年は二十六人、令和四年も三十人台で、町の人口減少が加速度的に進んでおり、将来の町の存続が危惧される状況にあるといえます。こうした町の状況をしっかりと把握したうえで現状に合った対策を行い、将来を見据えた計画のもとに、行政、議会、住民が一致団結し、小さくても輝くまちづくりに取り組まなければなりません。

議会も議員間討議を進め、町民の声を町政に反映させ、町民が住みやすい活力ある町づくりに取り組んでいきます。

今年が素晴らしい一年になりますように、町民の皆さんのご健勝とご多幸をお祈りし、新年の挨拶といたします。

選挙管理委員及び補充員の選挙結果について

(任期：令和6年12月21日～令和10年12月20日まで)

選挙管理委員

進 一富さん(川下南)



選挙管理委員

高倉 町子さん(中央二)



選挙管理委員

時松 和弘さん(奥郷)



選挙管理委員

松原喜一郎さん(潜石)



選挙管理委員(補充員)

小路 浩一さん(北恵良三)



選挙管理委員(補充員)

宇都宮康徳さん(平家山)



選挙管理委員(補充員)

野木 敦子さん(萩釣下)



選挙管理委員(補充員)

工藤 信宏さん(桐木四)



令和6年第4回定例会

本定例会は12月4日から12月16日までの13日間開催されました。
報告を含む議案13件を慎重に審議し原案のとおり可決しました。

令和6年度 一般会計補正 予算(第9号)

補正前の額
補正額
補正後の額

92億1,017万円
8,971万円
92億9,988万円

歳入

- 地方交付税……………2億266万4千円
- 特定防衛施設周辺整備調整交付金……………2,151万円
- 社会資本整備総合交付金……………△1,684万8千円
- おおいた園芸産地づくり支援事業補助金…6,792万1千円
- 減債基金繰入金……………△1億9,000万円
- 町有施設整備基金繰入金……………△1,300万円
- 土木債……………1,880万円

歳出

- 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立金……………1,200万円
- 再編関連訓練移転等交付金事業積立金……1,200万円
- 障害者自立支援給付費……………1,825万円
- おおいた園芸産地づくり支援事業補助金……………8,150万7千円
- 協定工事負担金……………3,300万円
- 社会資本整備総合交付金事業費……………△3,000万円
- 中学校施設費……………1,300万円

◎簡易水道事業会計

収益的収入及び支出

〈収入〉

補正前の額	1億4,180万6千円
補正額	946千円
補正後の額	1億4,275万2千円

〈支出〉

補正前の額	1億7,397万円
補正額	△524万3千円
補正後の額	1億6,872万7千円

資本的収入及び支出

〈収入〉

補正前の額	4,751万3千円
補正額	605万円
補正後の額	5,356万3千円

〈支出〉

補正前の額	7,042万4千円
補正額	1,100万円
補正後の額	8,142万4千円

◎特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計 繰越金等
補正額 3,186万1千円 総額14億6,836万4千円
- 飯田高原診療所特別会計 備品購入決定・予備費充当
補正額 増減なし 総額 7,281万6千円
- 介護保険特別会計 居宅介護サービス給付費決定等
補正額 98万3千円 総額15億7,372万8千円
- 後期高齢者医療特別会計 保険基盤安定負担金決定
補正額 △5,963千円 総額 2億 692万3千円



第4回九重町議会定例会 「令和6年12月4日～12月16日」

議案番号	件 名	付 託	結 果
報告第11号	専決処分の報告同承認を求めることについて		承 認
議案第71号	九重町名誉町民の選定について		同 意
議案第72号	証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について		決 定
議案第73号	財産取得について		可 決
議案第74号	課設置条例の一部改正について	総務建設産業 常任委員会	可 決
議案第75号	九重町再編関連訓練移転等交付金事業基金条例の制定について		可 決
議案第76号	九重町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		可 決
			可 決
議案第77号	令和6年度九重町一般会計補正予算（第9号）		可 決
議案第78号	令和6年度九重町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可 決
議案第79号	令和6年度九重町飯田高原診療所特別会計補正予算（第2号）		可 決
議案第80号	令和6年度九重町介護保険特別会計補正予算（第2号）		可 決
議案第81号	令和6年度九重町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		可 決
議案第82号	令和6年度九重町簡易水道事業会計補正予算（第2号）		可 決
陳情第7号	町道認定を求める陳情書		採 択

定例会

定例会質疑応答

岩尾茂樹議員

議案第74号
課設置条例の一部改正について

岩尾 機構改革の理由、予定している具体的な事務・事業等はあるのか。

竹尾総務課長 関連する業務を同一課内に配置して連携を強化し住民サービスの向上を図る。

議案第77号
令和6年度九重町一般会計補正予算（第9号）

岩尾 釣住宅分譲地に係る不動産鑑定等の委託料が計上されているが、分譲する際に造成費用や子育て世帯・移住定住者等に対する配慮等はするのか。

小田まちづくり推進課長 今後検討する。

岩尾 債務負担行為としてこのえ町づくり公社事務費補助金が計上されているが、代表者の人選については今後も今回と同様に3団体の代表者の互選で決めるのか。また、代表者は2つ

の団体の代表を兼ねるようになるが問題ないか。

吉光商工観光・自然環境課長 当面この方法で人選し、代表の方は適任と考えている。

河野克輝議員

河野 DMO「一般社団法人このえ町づくり公社」は、株式会社として立ち上げると住民説明（9回）を行ったのに、一般社団法人と変わって立ち上げる事を住民に知らせずに進めるのはなぜか。

吉光商工観光・自然環境課長 必要に応じて説明していく。

河野 住民説明の際の意見返答で「住民理解が必要」「将来的に自走するためには自主財源が必要、しっかり自走できるように株式形態とした」とあるのだから、説明する必要はあるのではないか。

吉光商工観光・自然環境課長 住民にしっかりと説明できてなかったことに関しては、担当課長としては反省したい。新たな組織がどういった目的でこういった事業をやっているのか、しっかりと説明していきたい。

第2回臨時会(R6.11.6)議案一覧

議案番号	件 名	結 果
報告第10号	専決処分の報告同承認を求めることについて	承認
議案第69号	財産取得について	可決
議案第70号	令和6年度九重町一般会計補正予算（第7号）	可決

議案第69号 コミュニティバス2台 取得 価格603万9千円

議案第74号「課設置条例の一部改正について」

組織機構の改編により業務の効率化と現状に即した機能的な業務連携を進めることで、住民への公共サービスの質の向上が図られるものと捉え、適当であるとの結論に達しました。

【住民の利便性向上にむけた改善点】

- ①（生活環境窓口などを1階に移動することで）役場1階で多くの手続きが可能に。
- ②（保健センター事務室を本庁に移動することで）保健師へのつなぎや手続きがワンフロアで可能に。
また、別な用事で来た人の健康相談が容易に。
- ③ 課内で別の場所にあったグループを同じ場所にするすることで、効果的なサービス提供が可能に。
（社会教育課は文化センターへ）

議案第75号「九重町再編関連訓練移転等交付金事業基金条例の制定について」

これまでの防衛施設周辺整備調整交付金に加えて、駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法に基づき交付される交付金についても新たに基金を設けるものであります。この用途についてはハード面に限定されずソフト面での活用もできることとなり、有効な活用を目的とした基金の設置である事から適当であるとの結論に達しました。

議案第76号「九重町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について」

主たる改正の根拠がマイナンバーカードに健康保健証が紐付けされたことによる一部改正であることから適当であるとの結論に達しました。

陳情受付番号第7号「町道認定を求める陳情書」

川下北行政区区長中川始氏並びに関係者2名により提出された陳情です。隣接する町道の幅員が狭く、拡幅に大きな予算を伴うことから代替道路として町道認定を求めるものです。

令和6年12月10日に中川区長・建設課職員の立会いの下、委員全員で聞き取りと現地確認を行い、利便性や経済性を鑑みて適当であるとの結論に達しました。



総務建設産業常任委員会 所管事務調査について

付託を受けた議案審査と陳情・補正予算関連の審査に加え、下記の所管事務について執行部に説明を求め調査を行いました。

① 防衛関連予算を財源とする事業について

防衛施設周辺整備に加えて再編訓練による交付金について現状の確認と今後の計画を確認

② 消防組織の将来的な編成について

消防団組織の現状確認と将来的な編成確認・消防車の配備計画

③ 森林環境譲与税を財源とした事業と町有林の整備計画について

譲与税基金の活用状況と町有林の整備・経営状況の確認

④ 町田バーネット牧場の跡地活用について

畜産公社撤退の後、今後の活用方法について確認



久大林産に導入された移動式チッパー

教育民生観光常任委員会

審査報告

12月定例会において付託された議案等の案件はありませんでしたが、12月9日に開催した常任委員会で、補正予算議案等について下記のような質疑を行いました。

また、委員会終了後に「学校のあり方」を研究する一環として、町内の小学校に係る歳入・歳出等について教育振興課長より説明を受け、質問等行いました。

【社会教育課】

Q 地区公民館が空館になることが多いが、事業量に対し、そもそもの職員配置が足りていないのでは。

A 今年度は特別な状況にあるが、現体制で対応をしていくほかない。

【住民課】

Q マイナンバーカードを持たず、従来の健康保険証の有効期限が切れた場合はどうなる。

A 自動的に資格確認書が送られることになっている。(申請の必要なし)

【教育振興課】

Q 給食費に対する町の補助はどれくらいか。

A 賄材料費の約2割を町が一般財源で負担している。それに小学生240円、中学生280円の給食費を加えて給食を提供している。

【商工観光・自然環境課】

Q DMO（一般社団法人このえ町づくり公社）の今後の具体的な業務は。

A 2名の求人を行い、新たな組織体制のなかで業務内容を具体化していく予定。

教育民生観光常任委員会視察

令和6年10月2日（水）

玖珠町立くす若草小中学校（学びの多様化学校）

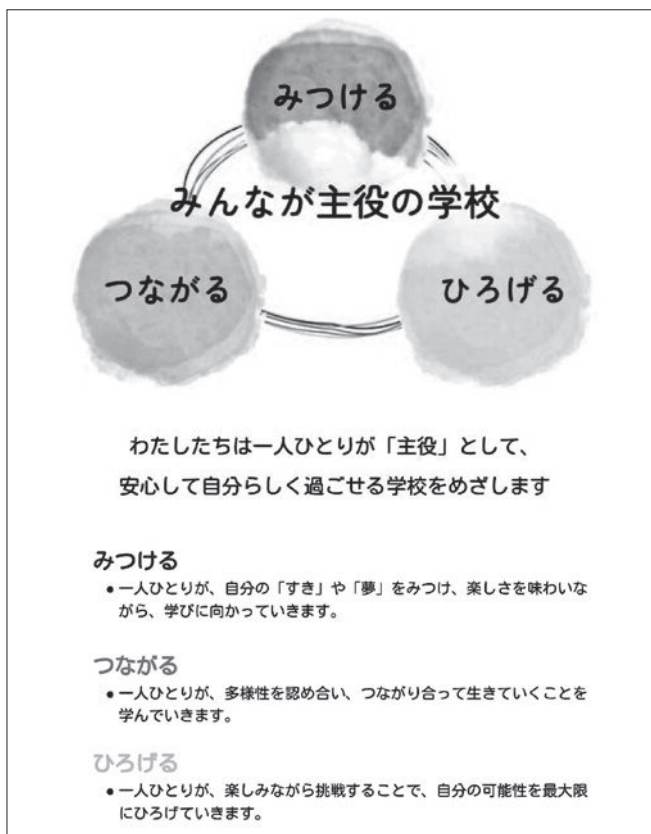
教育民生観光常任委員会では、少子化の進む九重町の「学校のあり方」を考える為の勉強会を行っています。

その一環として、玖珠町で昨年新設された「くす若草小中学校」（学びの多様化学校）の視察を行いました。

「みんなが主役」を教育目標とし、学校名や教室の名前など子どもたちが考え命名し、新設教科として「対話」「野遊び」「探求」など子どもたちがのびのび学べる学校として立ち上げられました。

現在ほとんどの児童生徒が通学できているようで、将来の進学等についても考え始めている生徒もいるようです。

梶原教育長の「この学校が特別ではなく、全ての学校がこうあるべき」との言葉に力強い思いが感じられました。



校長室は「たいわしつ」



教室に間仕切りは無く、開放的



玄関は「楽しくいこう」



図工室は「木こりべや」



オンラインで授業できるように
カメラが設置している

10/30

視察先 佐賀県藤津郡太良町 ～一般質問の予告をYouTubeに掲載

太良町の広報委員は、5名構成で任期4年、新人議員は必ず加入し、広報編集は、議会終了後一週間で原稿の作成を行うとのことでした。

一般質問についての原稿は、質問者本人or委員会のメンバーで作成し、最後は委員会に一任。町民の声の反映は、地域へ出向き意見交換会を行っている等の説明を受けました。

全般的に、九重町の議会広報と似ている点が多くありましたが、ひとつ特長的だったのは、一般質問の内容を質問者が各自、一分間動画にしてYouTubeに掲載するという取り組み

でした。一般質問者が何を聞いたのかを文字でなく自身の言葉で伝える取り組みとして行っていると伺いました。視聴回数を見ると多い方、少ない方、海外の方から見られている等多くの発見があったそうです。九重町の議会広報は町のホームページから閲覧出来ますが、議会独自でSNSの活用等を考えていく必要があると感じました。



10/31

視察先 佐賀県杵島郡江北町 ～見開きに一般質問



江北町の広報委員は5名構成、各常任委員会から2名、任期4年、新人議員は慣例として選出。一般質問原稿は議会開催月の月末までに質問者本人が作成。常任委員会原稿は各常任委員会所属の広報委員が作成。翌月上旬までに広報委員がその他の紙面作成を行い、執行部職員の確認の後、広報委員による最終チェックを経て完成。月末に町内へ配布を行っているそうです。

作成においては、九重町の議会広報と同形

式であると感じました。

江北町議会広報は、表紙をめくると一般質問のページとなっています。なぜ一般質問からなのかとお尋ねすると、「町民が一番関心をもっているのが一般質問ではないか」と考え、最初に掲載しているとの事でした。

また、常任委員会でのQ&Aや視察等は掲載されているが、審議した予算議案等の掲載をしないなど、九重町と大きく異なる点も多く、議会広報の作成方法もいろいろな考え方があると見識が深まった研修となりました。

11/5

日田玖珠議長会議員研修

場所 九重町役場 301会議室

参加 玖珠町議会 日田市議会 九重町議会

講師 元モンゴル全権大使 清水武則 氏

昨年に続き今年も直行便による九重町とモンゴルとの交流が行われましたが、これまでモンゴルに多大な貢献をされ、モンゴル国民にも有名な清水元全権大使を迎え研修を行いました。

モンゴル国また国民の親日の様子や活力ある発展状況、隣接国との複雑な外交問題など多岐にわたる内容がスライドにより紹介されました。

圧倒的に広大、雄大な大自然に恵まれた親日国と九重町の交流は貴重であり、今後も町、議会ともに互いの発展に寄与してまいります。



11/20

大分県町村議会議長会 第2回議員研修会

場所 九重町役場 301会議室

参加 日出町議会 玖珠町議会 姫島村議会 九重町議会

コンプライアンス社会を生きる

講師 松本久美子 氏 (ことの葉クローバー 代表)



皆で理解を深め、ハラスメントのない職場に

職場において行われる優越的な関係を背景とした言動は、『パワーハラスメント』と定義されています。

どのような職場でも起こりうるハラスメントは、社会問題であり、組織全体で取り組んでいく重要課題です。本研修では、ハラスメントの現状や事例を挙げながら、「なぜ起きるのか」、「どうすれば防げるのか」、「どこまでがコミュニケーションで、どこからがハラスメントなのか」、そして起きてしまった場合の相談対応などが解説されました。

「九重町議会あり方検討特別委員会」設置

令和6年9月定例会で、上記の特別委員会の設置を議決しました。今後、下記3部会で、それぞれの課題について研究・協議を重ねます。最終的には、議員全員の協議の後に結果を町民の方々に提示します。今後、皆様の意見収集等議会へのご意見・ご要望をうかがう機会を創設します。多くの方々のご協力を切にお願い申し上げます。

特別委員会委員長 **岐部 俊哉**

副委員長 **増田 裕子**

★第1部会「議員定数と報酬」

部会長：大津留敏加

会 員：佐藤明郎・岐部俊哉・河野克輝

★第2部会「議会活動の活性化（政策立案・提言能力向上）」

部会長：増田裕子

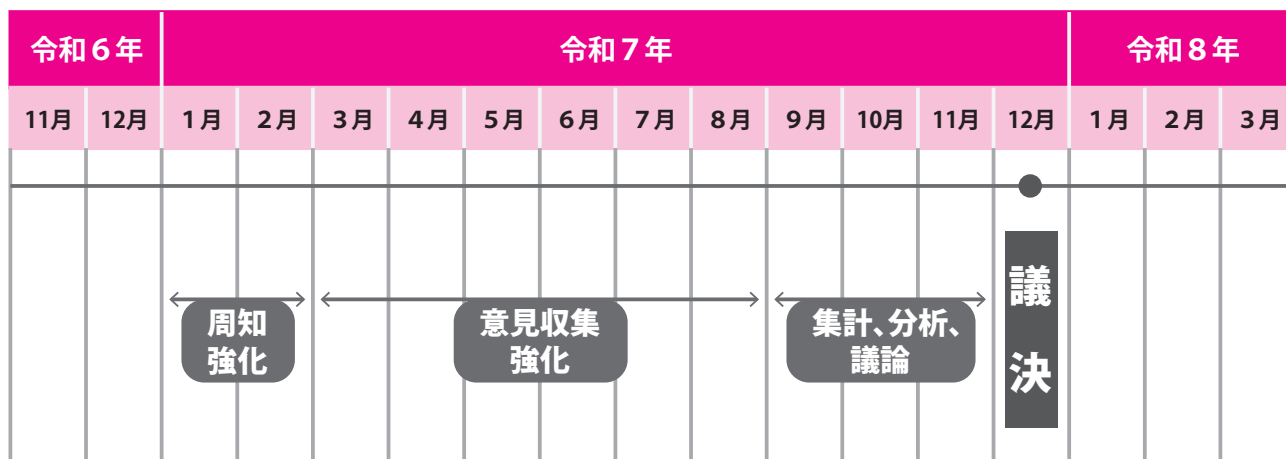
会 員：菅原美好・野上香代子・佐々木信介

★第3部会「公営選挙・議員の担い手不足解消」

部会長：岩尾茂樹

会 員：土井眞一郎・有吉富生・矢野春美

【九重町議会あり方検討特別委員会】 年間スケジュール



2年間の取り組みとして議会傍聴に来られた方々にアンケートを行いました。 今回はその他の感じた事やご意見を掲載致します

★ もっと町の将来について夢がある議論は出来ないのか。執行部も議員も夢を語る人がいない。

★ 九重町には魅力が沢山あるし町の方々にも様々な思いとエネルギーがあると思います。なので、必ず九重町が、これからもっと魅力的になっていくと信じています。明るい未来に向けて頑張ってください議員さんを応援します。

★ 議員さんの質問により行政の取り組みがどのように行われているか解り傍聴して良かった。

★ 若者達に夢を残したい。

★ ホームページを見てもほしい情報にたどりつけない。

★ 毎回質問する議員がいる中、質問しない議員がいるのは何故か。

★ 九重町の読み方を統一した方がよいのでは(ここのえまち)(ここのえちょう)

★ 他の市町村と同じ事をやっているのでは町の活力が落ち込む、議会も人口増の為の具体的提案と実行をするべき。

★ 議員の提案に積極的に取り組める所から実施してほしい。慎重すぎて踏み出せない何と何も変わらない。

★ 議員へ配布される資料を傍聴者にも配ってほしい(傍聴者が軽視されていると感じる)

傍聴者の声

★ 町職員・議員は町民に出向いて現状を見聞かしているのか。

★ 町報に掲載すれば町民に知らせたと言う、高齢者にとっても解りやすい記事内容がほしい。

★ 町長への質問に担当課長が答えている。町長に答弁させるべきではないか。

★ 議員からの提案は良いが執行部を説得し「検討する」くらいの返答を求めるよう努めてほしい。

★ 議員定数が人口で見れば多いのではないか。

★ 各々の議員が日常課題にしていること、疑問に思う事を聞けて良かった。

★ お悔やみの土日祝日の放送は担当が出勤してでも放送するべきだ。

★ 議会は町政のチェックをする場だが、議員は過去町政側にいた方も多く忖度があるのではと思う事もある。

★ 議員の質問は町民目線での質問でしっかり町政をチェックしていると感じた。ケーブルテレビでの放映も良い。

★ 町長や議員は九重町の危機を真剣に本気で考えているのか。

★ 町民の声を反映した活発な議論を願う。

★ 質問のやり取りを期待していた。1時間をしっかり使ってほしい。

★ 議案の資料等が映し出せるモニターがあれば良い。傍聴者、町民には解からない。

町政を質す 一般質問

5名の議員が質問

現実的な町民負担の軽減策を

- 地区集会所—早急に検討
- 町道管理—県の事業で対応



佐藤 明郎

一般質問

地区集会所建設のあり方

佐藤 今の制度では、建設に必要な経費の1割を地元負担としているが、それでも2〜3百万が必要。

高齢世帯も多い中、将来的な維持管理など考えると、新築以外に地区内の既存施設や民家を集会所として活用する新たな支援策を設ける事で町民に選択肢が増え、財政的に行政、町民共に大きな負担減になる。

数年前から検討を求めてきたが、改めて見解を伺う。

時松副町長 時間がかかっているが、早期に方向性を出す。

移管予定の県道の有効活用

佐藤 県道書曲野田線の一部が町に移管される。地元の理解が大前提であるが、町の大きな課題である宅地不足の解消に活用できないか。

日野町長 移管前であり具体的な回答はできないが、様々な条件もあり、可能性については探って行きたい。



町に移管される道路周辺

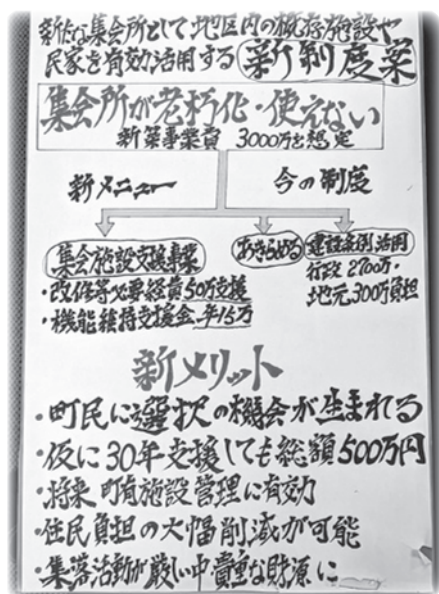
高齢化集落の町道管理支援

佐藤 以前より高齢化集落の町道管理に支援ができないかと困窮している現実を訴えてきたが「原則地元管理で」との回答であった。県の事業で支援が可能との認識でよいのか。

小田まちづくり推進課長 条件が整えば、県の事業を活用し応援隊を配置することが可能。人数などは時々々の状況によって異なるが対応できる。

佐藤 条件が整っても応援隊の都合で対応できない場合は意味がなく、申請者も落胆するが大丈夫か。

小田まちづくり推進課長 可能性がゼロではないが、今までこの事業はすべて対応できており、実際そのようなことは起きていない。



提案した、集会所設置の新制度

岩尾
茂樹



来年度の当初予算編成方針について… 守りから攻めの施政として例年と違うことを考えているか

…………… 編成方針は基本的考え方や事項を示すもので、大きく変わるものではない。原則として第5次総合計画にのっとり編成

R5年度決算と7年度当初予算編成方針 について(広報このえ10月号掲載分)

岩尾 財政状況の各種指標の意味は。

竹尾総務課長 実質赤字比率は一般会計部分の赤字がどれくらいあるのかを示す比率で、連結実質赤字比率は特別会計等も含めた全ての赤字比率。実質公債費比率は収入の中からどれだけ借金返済に充てているかという比率で、将来負担比率は今後負担しなければならない借金の比率。経常収支比率は税等の経常収入に対して必ず支払わなければならない人件費等の経常経費がどれくらいの割合を占めているかを示す数字。

岩尾 数値から健全な財政状況と思われるが、少し借金をしてでも新たな事業を実施することはできないか。

竹尾総務課長 基準の指標はここまでなら余裕があるという様な意味ではないので難しい。

岩尾 地方債(借金)は減少し、基金(貯金)は増えているが、公債費比率が悪化しているのは何故か。

竹尾総務課長 地方債に対して国が補填する交付税への算入率が低いものへの償還が始まったため。

岩尾 大吊橋を造った時と現在の財政状況の違いは。

竹尾総務課長 経常収支比率はやや改善、実質公債費比率は悪化している。基金は増えているが大型の施設整備や災害への対応に必要であり、新たな事業展開は将来的な負担等考慮して選択していくべきと考えている。

プレミアム商品券事業について

岩尾 効果をどのように検証しているか。

吉光商工観光・自然環境課長 事業者のメリットとしては地域内での消費を促進し売上げを支援する。

住民側はプレミアム分が安くなる。

岩尾 利用が特定の業種や店舗に偏っていないか。

吉光商工観光・自然環境課長 登録している業種や店舗はそれなりの数がある。

岩尾 デジタル通貨等の新たな振興策は検討できないか。

吉光商工観光・自然環境課長 調査研究は行っている。

土木建設業の振興策について

岩尾 災害復旧事業完了後の工事発注計画等は。(急激な事業量減とならないような)

武石建設課長 延期していた道路改良事業や補修事業等を再開し、砂防事業等について県と連携し、新規の事業化を進め事業量を確保していく。



今後、改良工事が見込まれる町道

「一軒一反運動」の推進について

岩尾 土に親しむことは体や心の健康に役立つと言われている。休日に家族等で野菜や花を育てる取り組みを「まちづくり」として推進できないか。(農業への理解や耕作放棄地の解消にもつながる)

日野町長 自らが考えて自らが行動を起こすということが、本当の意味での「まちづくり」ではないかと思うので、議員も地域の方たちと実践していただけたらと思う。

乳幼児から高齢者までくつろげる公園の整備は

…………… 町内全体の見直しと、ニーズに合った再整備をしていきたい



増田 裕子

世代を超えて交流できる安全な場としての公園、早い整備を望む

増田 未就学児も遊べるような児童公園を望む声を以前から聞いているが、現在町内での状況は。

穴井子育て支援課長 当課で維持管理している児童公園12カ所、遊具が22基ある。ほとんどが30年以上経過している状態。これからの再編整備も必要かと考えている。

日野町長 ニーズに合う全体的な見直しは必要で、やっていきたい。

子育て支援課管轄の児童公園12カ所

室園こども広場	ブランコ1
川上こども広場	すべり台、ブランコ
書曲三こども広場	すべり台
松岡児童公園	シーソー、ブランコ、すべり台
滝上こども広場	すべり台
ヨシブ集会所	鉄棒
湯坪基幹集落センター	鉄棒、ブランコ、すべり台
串梶こども広場	すべり台、ブランコ
川西こども広場	すべり台、ブランコ
後河内こども広場	すべり台
富迫こども広場	鉄棒、すべり台
栗野中央児童公園	鉄棒、ブランコ、すべり台



増田 防災公園についての調査・研究は。

梅木危機管理・防災安全課長 町では、都市型の防災公園については検討していない。マップ作りや避難訓練等が重要と考えている。

日野健康福祉課長 現時点で135行政区のうち105行政区で防災見守りマップ作りが行われている。更に何度も更新を行いながら地域ぐるみでの防災力を上げる取り組みを行いたい。

人工知能AIを有効に活用して、役場職員がより町民と顔を向き合い寄り添えるように

増田 今話題になっている人工知能（AI）、九重町での導入状況と管理費用は。また利点や課題をどうとらえているか。

松尾情報デジタル推進課長 今年から会議等議事録等作成支援と防災放送無線の2システムを導入している。議事録作成は年間46万円の保守管理運営費用で、1回の会議に1～2日かかった作業が数時間で完成する。防災無線は、デジタル化に伴うもので特段の費用は発生しない。

利点としては、業務の効率化や住民サービスの向上だが、活用方法を日々模索中である。課題としては、AIを運用・活用していくのは人なので、人材育成が課題。AIへの過度な依存は過信を生むので、人とAIの適正なバランスを考えていく必要があると捉えている。

増田 来年度の予算編成の方針と、新たな事業計画はあるか。

竹尾総務課長 第5次総合計画に沿って健全財政の維持を基本に、現在予算編成中。3月に施政方針で提示したい。

河野
克輝



町民と対話をし、町民の望む町づくりをしてきたからこそ圧倒的支持を得て三期目。8年間で見たものはなにか

..... 私の原点は対話から始まっている

日野町長 私の原点は現場を大切にし、対話から始まっている。物事はその現場からしか絶対分らない。しっかりといつも立ち返りながら物事を進めていかなければならない。

河野 継続して行うもの以外に、これからの4年間に行う具体的なものはあるか

日野町長 自らが律して、自らが立ち上がる町づくりを進める。住民みんなが自分で立ち上がっていくという活動を支援していく。

住民主体の避難所開設について

河野 現在、避難所は役場職員が開設しているが、大災害があった際、職員は災害状況を把握し被害を最小限にするための人員として確保し、避難所は住民主体で行う方が良いのではないかと考えている。

梅木危機管理・防災安全課長 住民主体での避難所運営は必要と考える。また、そのことが定着できると非常に良いとも考えている。

小学校について

河野 6月に学校規模（複式学級の有無）での区域外就学の必要性を質問し、「認められない」とのことだったが現在も同じ考えか。

友松教育振興課長 教育委員会で議論して、「指定を受けた学校では複式学級に就学することになるため、他校への就学を希望する」場合は、それを認めることとなった。

※今年就学される方については、1月中に指定校の通知が自宅に郵送され、その中に区域外通学のお知らせも入る。
既に就学されている方は、学校と連携して保護者にしっかり伝わるようにしていく。

鳥獣害について

河野 2024年の1月に飯田で住民が自宅付近の農地で猪に襲われ大けがをするという事象が発生して陳情が上がリ、議会でも採択をしたが、現在の状況は。

〈再発防止のための4つの要望〉

1. 持続可能な駆除活動に向けた体制づくりの強化促進
2. 有害鳥獣駆除捕獲報奨金の上乗せ
3. 狩猟免許及び用具取得に対する関係団体への補助金増額
4. 有害鳥獣への安全対策の啓発

『校区別の児童数』

(単位:人)

九 重 町	45	43	40	32	38	23
5歳～0歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
東 飯 田	16	18	9	10	10	8
野 上	16	6	9	8	9	5
野 矢	1	3	2	1	2	2
飯 田	5	7	16	2	6	6
准 園	1	5	3	2	6	1
南 山 田	6	4	1	9	5	1

令和6年6月20日時点

藤野農林課長 1～3については情報交換、意見交換、検討を行っている。現状は昨年度と変わっていない。

4は、人的被害が発生した際の注意喚起を防災無線等で行っており、引き続き、広報、啓発に努めたいと考える。

「ひとづくり」と「働き方改革」に本気で取り組めないか

……………「ひとづくり」は政治信条!
働き方改革は研究していく



岐部 俊哉

令和の時代を生きる! 第20弾「人づくり」は「町づくり」

ひとづくりと働き方改革

岐部 「人づくり」が「町の未来への投資」と考えて

日野町長

日野町長 全ての原点は常に人であり、「人づくりなくして町の未来はない!」というのが私の政治信条である。

岐部 消防団について見直しの経緯はどうなっているのか。

梅木危機管理・防災安全課長 管轄地域の再編については検討していない。タンク車の配備については役員と協議中である。今後、消防車の小型化や水槽付きポンプ車の導入に向けた車両更新の基準を協議して定めていくことで、充実した消防体制を目指す。

岐部 公務員の兼業について関連する町の規則は、「職務に専念する義務の特例に関する規則」以外にあるか。また、町長が認めればできるとあるがそれで正しいか。

竹尾総務課長 その規則以外にはないし、町長が特に認めればできるとなっている。

働き方改革の課題解決には適応課題が重要

	<外圧> 技術的問題 Technical Problems	<内発> 適応課題 Adaptive Challenges
どのような問題か?	氷山モデルの 水面上にある 見えやすい問題	氷山モデルの 水面下にある 見えにくい問題
何が問題なのか?	定義しやすい	何が「問題」なのか の合意が難しい
どう解決するのか?	既存の技術、知識、経験で、 短期間で解決ができる	これまでの自分の価値観、 信念、役割、マインドセット の変化が必要
誰が解決するのか?	上層部や専門家	問題を抱えている人自身

岐部 働き方改革の一環でフレックス制の導入が考えられないか

竹尾総務課長 ワーク・ライフ・バランスの推進に有効であると考えますが、導入には種々課題が予想されることから引き続き研究していく。

部活動の地域移行

岐部 健全育成と部活動の意義について。

時松教育長 以下のように考えている。

健全育成とは

全ての子どもの生活の保全と情緒の安定を図って一人一人の個性と発達段階に応じて全人格的に健やかに育てるということは学校教育と社会教育の両輪において実現されるべきものである

部活動の成果の捉え方

学校部活動は生徒の思いやりの心とか自主性とか社会性の育成、豊かな人間関係の構築や生涯学習の基礎づくり、生徒の個性・能力の伸長、そして体力向上や健康増進等を図ることなどにおいて教育的意義が非常に高いと認識している

岐部 部活動の地域移行について今後の計画は。

友松教育振興課長 休日の部活動については令和8年度から地域クラブ活動へ移行する計画である。平日についての議論は検討委員会で行っていない。

岐部 検討委員会の結果をどう反映するのか。

友松教育振興課長 諮問という形でなく町・教育委員会に対して提案をいただく。その後、教育委員会としての方針を出していく。

岐部 教育長が責任をもって予算化していくのか。

時松教育長 検討委員会で検討された内容には責任を持って進めていく。

岐部 公益性の高い活動（部活動の指導等）を公務員が行う際に時間や報酬の配慮ができるか。

竹尾総務課長 今後の検討が必要と考えるが、公益性のある業務と思われるため兼業を許可する可能性はあると考える。

傍聴者の声



松本

山本幸雄さん

26年前に、農的な暮らしを求めて、京都の街中から夫婦で移住してきました。誰も知り合いがいらない状況で、「先ずは町を知ろう」と情報を仕入れ、様々な集まりやイベントに参加してきました。

せっかくご縁があつて移り住んだこの町が、「住んでよかった」と思える町に、そして住んでいる方々にとって住みやすい町であつてほしいという思いから、町づくり委員になつたりもしました。町議会

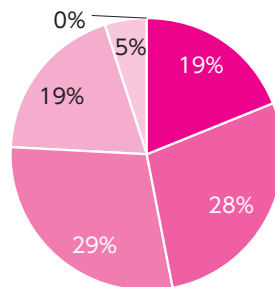
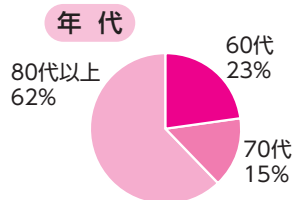
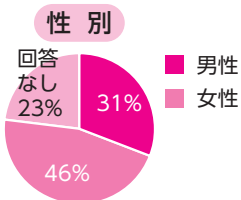
の傍聴も、その一環です。



10数年前から、一般質問の傍聴を欠かしたことはほぼありません。税金の使い道や自分たちの住んでいる地域、町全体のことを知るきっかけとして、傍聴に出かけてみることもひとつの方法ではないでしょうか。

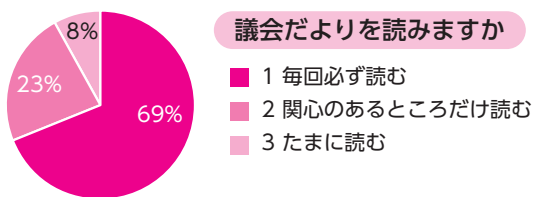
傍聴席で見かけるのはいつも、新聞記者と顔見知りの数名の方という状況、とても残念に思います。選挙の時だけの議会であつてはならない、との思いで、これからも傍聴を続けていきます。

傍聴者アンケート



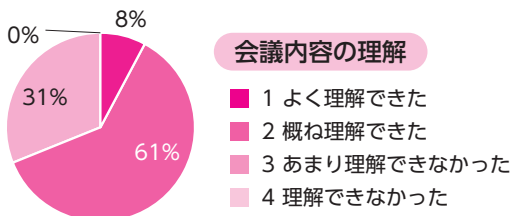
傍聴動機

- 1 議会に興味があるから
- 2 町政に興味があるから
- 3 応援している議員が居るから
- 4 一般質問の内容に興味があるから
- 5 地域の取り組みとして
- 6 その他



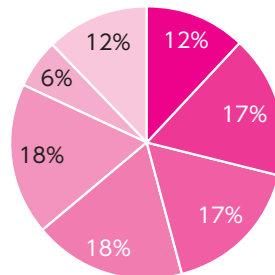
議会だよりを読みますか

- 1 毎回必ず読む
- 2 関心のあるところだけ読む
- 3 たまに読む



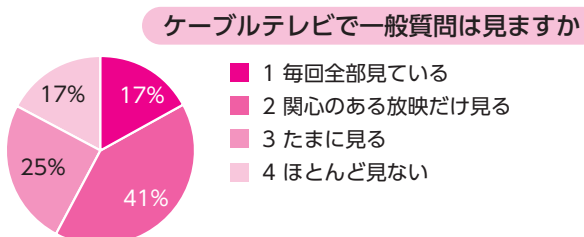
会議内容の理解

- 1 よく理解できた
- 2 概ね理解できた
- 3 あまり理解できなかった
- 4 理解できなかった



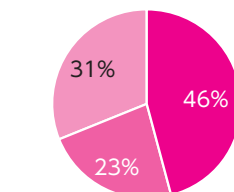
議会・議員に期待すること

- 1 町政のチェック
- 2 議論の活発化
- 3 積極的な政策提案
- 4 議員の資質向上
- 5 町民の声の反映
- 6 議会だよりの充実
- 7 情報発信
- 8 その他



ケーブルテレビで一般質問は見ますか

- 1 毎回全部見ている
- 2 関心のある放映だけ見る
- 3 たまに見る
- 4 ほとんど見ない



また傍聴に来ますか

- 1 ぜひまた来たい
- 2 一般質問がある日に来たい
- 3 興味がある議題があるときに来たい

アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は、議員全員で共有いたします。

傍聴へどうぞ 次回は3月です



第24回

第10回 東飯田地区 つ～だら・だった祭り



会場イベントの様子



文化展の様子



3B体操



下旦子ども祇園ばやし



消防団



恵良盆踊り



人気者「ミヤちゃん」



TOSの森さんも抽選会まで
「全力お手伝い！」



キッズマルシェ

11月10日(日)
大勢のボランティアスタッフ、
出展者、出演者、参加者でにぎ
やかに開催されました。
地域のつながりを再確認！



受付の様子



恐竜も現れて…

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76-3814】

令和7年1月17日
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp



広報委員長 野上香代子
副委員長 土井眞一郎
委員 岩尾 茂樹
委員 岐部 俊哉
委員 矢野 春美
委員 河野 克輝

土井 眞一郎

昨年、猛暑で大変な一年でありました。今年は巳年で、巳とは蛇を意味し、将来・未来があるといった意味もあり、無限の可能性というイメージを持ち合わせています。町民の皆様一人ひとりが幸せに過ごせることを祈るばかりです。

今年も、見やすい紙面づくりを念頭に置き、町民の皆様に愛される議会だよりを目指していきたいと思っています。

編集後記